



みなさま

メカニカルアート・文ジニア（文化と技術の新結合） 小松昭夫の事業・発明の原点。 Society 5.0

「文化（哲学）的な脳とエンジニア的な科学脳の新結合（イノベーション）から、
人類・未来に有用な発明」として世界から高く評価された商品、
それが実は「happy gate 門番」と「やくも水神」！

やくも水神は究極のソーシャルビジネスとして高い評価を受け、全国470自治体、13,000施設に広がる
水のIoTの先駆け「やくも水神ネットワークシステム」として大きく成長しました。
水の問題は世界人類共通の課題です。

また、「happy gate 門番」は1985年発売以来18万台をお届けして世界・全国で圧倒的な支持を得て安全
な環境づくりにお役に立ってきました。

小松昭夫社長は何故、このような革新的な商品開発・成長に繋がったのでしょうか。発想の原点を探るべく小松
社長の「頭脳と心の中」へ入り込み、ある言葉にたどり着きました。それが「メカニカルアート・文ジニア（文化
と技術の新結合）」です。

メカニカルアート・文ジニアとは何か？

Mechanical Art

=西周(にしあまね 石見国津和野藩出身の哲学者・啓蒙学者)、
技術は「メカニカルアート」

文（ブン）=文化・芸術（右脳）

ジニア=エンジニア（技術・システム・テクノロジー）（左脳）

文は文化・芸術など人間の心に直接届き感動を充実を共有する右脳のチカラをもたらします。人々が平和に暮
らし、環境を大切に暮らし、健康寿命を全うできる社会を創る創造哲学を共有します。ジニアは様々な課題・問題
をテクノロジー（科学的な根拠）で解決するエンジニアの卓越した能力を指します。

まさに小松昭夫社長の頭脳の中を分析してみれば「メカニカルアート・文ジニア」そのものです。

この「メカニカルアート・文ジニア」としての資質が現在の成長の証であり、共に成長を果たしてきた社員のみな
さん、お取引先様との共通の価値観として大きなネットワークを形成してきたと考えます。

メカニカルアート・文ジニア思想が地域、世界に広まり、それぞれの地域で新しい価値観を創りだす
文ジニアが次々と集まり、議論する中から新しいメカニカルアートが生まれ、真の「平和・環境・健康」が実現す
る社会の創造を目指して、下記に掲げる事業の提案をいたします。

世界の人々がこの地に集い、大いに語り、次々と才能が開花し
究極のメカニカルアートが生まれる社会の実現を目指すために
「メカニカルアート・文ジニア 会議」開催を世界へ呼びかけます。

テーマ 「対立から共生の社会をめざして」

開催主旨

「世界の期待を担い、朝鮮半島の対岸・宍道湖中海圏域にその役割が回ってきた」
メカニカルアートは「技術は本来、人の精神・創造力に根づいて生まれるもの」です。
連結汽水湖を持つ宍道湖中海圏域はまさに地球生命が生まれてきた「システムと知恵」と「歴史」を色濃く残して
いる貴重な地域である。このことを深く認識し、今こそ世界に発信していく地として役割を果たしていくことを強
く呼びかけます。

関連動画(9分47秒)

朝日ニュースター よみがえれニッポン対談番組
ニッポン再生・逆転の発想「漢字を考える」



対立から共生の文化へ

長い歴史問題から生まれた国家間対立、近年では深刻な米中対立、核・スマートフォンの爆発的普及、世界を覆うコロナ禍、とめどもない通貨政策などが重なり、朝鮮半島と日本列島から究極の危機が始まりかねません。

朝鮮半島の対岸、中海・宍道湖圏域で活動が続けてきた人間自然科学研究所は、「天の時・地の利・人の和」を得て、「対立から共生の文化へ」転換する「平和・環境・健康」「宗教・政治・経済」「感激・感動・覚醒」を深く考察、議論、活動を通じて「天命」へと繋がりました。

朝鮮半島対岸に位置する中海・宍道湖圏域は、核大国の中国・ロシア・アメリカの対立と日本・韓国・北朝鮮の対立に国内の地域間・世代間・貧富の差の拡大・国家の統治不全も重なり、社会不安が急速に拡大しています。

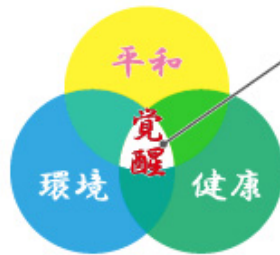
このような状況下に、島根原発三号炉の完成を控えています。
政略(原則)の上位概念の天略(原理)から、**真の地方創生**のストーリーを描くことにより、これに関わる方々の才能が次々と開花し、**真の健康寿命**を賜る流れが始まると信じています。

平和の定義＝戦争の無い状態は言うまでもなく、才能の開花を妨げる社会の文化的・構造的要因も無い状態

平和は創るものです。平和は、あたりまえのようにこの世に存在するものではありません。人間という生き物の特性を知り、その危うさを自覚するところから学ばなければなりません。

環境の定義＝社会環境（世界人的環境・国内人的環境）と、地球の歴史と、人類の長い営みから生まれる自然環境。

私達は地球をひとつの生命系として連鎖して存在しています。自然破壊、経済優先、効率主義の蔓延による危機が迫り、このままでは人類の悲劇は避けて通れないと思われれます。「豊かさの指標を変える」新しい哲学が必要です。そしてその哲学から生まれる新しい事業こそ私達が担うべき事業です。



「永遠の命を賜る」

健康の定義＝肉体及び精神（心と脳）が時間（神）の経過と共に、次々と才能が開花する状態。人類は自然界で関係性が無いと生きていけない生命体。価値観が同じで得意領域が違う3人が語り合う状況が必要とする。三人寄れば文殊の知恵。

人は何のために生きるのか。私は「楽しく愉快地に天寿を全うしたい」と考えています。そのためには自分の才能が開花して光り輝く状態であり続ける生き方を実践し続けるチカラが大切だと考えます。健康寿命を長くする秘訣はまさに自分の中に眠っている才能を呼び起こし鮮やかに開花させることにあると考えています。

編集後記

時代の変化が加速していることを実感しています。次々と流れるニュース、ビジネスをとりまく情報のスピード。今何がおこり、どんな対処をすればいいのか、毎日決断を迫られている時代がきました。この変化を活かすことができるのは、日頃から布石を打っていた人間にしかできないと、小松社長は常日頃から語っておられました。それが「今」だと感じています。コロナ禍があぶりだしたものの、コロナ以前からあった地球的規模の問題が一気に表に出てきました。「平和・環境・健康」という人類が最も大切に取り組まなければならないテーマが同時多発的に私たちの前に現れたのです。

「これをまとめて受け止め、今まで考え・行動してきた。多くの賛同者に呼びかけ自然豊かで生命力あふれる宍道湖・中海圏域から新たな流れを生み出そうではありませんか」という、小松昭夫社長のメッセージがようやく届く環境が整ったのではないかと確信しています。共に行動しましょう。

そのために「メカニカルアート・文ジニア会議」が大きな役割を果たすと確信しています。

編集人 長谷川泰二



小松電機産業株式会社



人間自然科学研究所